

山形市野草園だより



開園 30 周年 山形市野草園のシンボル ミズバショウ

例年たくさんの皆様方に足を運んでいただいている本園は、2023 年で開園 30 周年を迎えます。平成元年の山形市制 100 周年記念事業の一環として整備され、1993 年（平成 5 年）に開園しました。瀧山山麓のなだらかな場所に多くの湖沼が見られ自然豊かなこの西蔵王は、野草園をつくるのに絶好の場所であったといえます。

園内で一番大きな大平沼の湿地帯では、この時季にミズバショウとザゼンソウの大きな群落が見られます。ミズバショウとザゼンソウの混生群落は珍しく、4 月中旬に木道を歩くと一足先に咲き始めたザゼンソウと少し遅れて咲き始めたミズバショウの両方を観察することができます。より水辺に近い水の豊富なところにはミズバショウが、水の少ない所にはザゼンソウが多く見られ、同じ湿地帯の中でもきちんとすみ分けていることを観察することができます。

もう一度上の写真を見直してみると、褐色のザゼンソウより真白いミズバショウがとても多いことに気が付くはずです。そんな話を聞きながら、土曜・日曜・祝日にあるガイドウォーキングに参加して園内をまわってみると、自分だけで歩くのとは違った楽しみ方を発見できるかもしれません。百花繚乱の春の野草園、足を運んでみませんか。



山形市野草園 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

野草園は  のポイント対象施設です

4月の予定

◆開園期間・無休期間

- 開園期間 4/1(土)～11/30(木)
- 休園日 毎週月曜日(ただし 月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 無休期間 4/11(月)～6/18(日)(花がたくさん咲く時期は無休)



◆開園記念 花苗プレゼント

- 日 時 4/1(土) 午前9時から なくなり次第終了
- 内 容 先着100人にオキナグサの苗をプレゼント(高校生以下は除く) ○費 用 入園料300円

◆野草園は SUKSK ポイント対象施設

- 期 間 野草園開園期間 4/1(土)～11/30(木)
- 内 容 専用のスマホアプリで二次元コードを読み取るかポイントシールを受け取ることで、1回の来園で500ポイント付与(1日1回まで) 《詳細は「山形市 健康ポイント スクスク」で検索》

◆ガイドウォーキング

- 実施日 毎週日曜日・祝日 1日2回実施
(ただし、4/15～6/18、9月は土曜日も実施)
- 時 間 ① 午前10時30分～午前11時30分 ② 午後1時30分～午後2時30分
- 内 容 その日の見頃の場所・見頃の植物を案内
- 人 数 園内学習センター前集合
- 費 用 参加費無料 《ただし入園料300円(高校生以下無料)》

◆野草園写真展(紅の蔵)

- 日 時 4/1(土)～4/23(日) 午前10:00～午後6:00
- 会 場 山形まるごと館 紅の蔵 街なか情報館
- 内 容 令和4年度写真コンテスト入賞作品を展示(19点)
(合わせて春の見頃の山野草の写真もいくつか展示)
- 費 用 無料

◆バードウォッチング

- 日 時 4/15(土) 午前9:00～午前11:00
- 内 容 野草園内での野鳥の観察 ○対 象 先着20人
- 参加費 資料代・入園料込 500円(高校生以下200円)
- 持ち物 双眼鏡(野草園でも貸し出しあり)
- 申 込 4月2日(日)より 電話で野草園まで TEL023-634-4120



◆カブトムシの育て方教室

- 日 時 4/22(土) 午前10:00～午前11:00
- 内 容 幼虫2匹を配布、育て方の学習
- 対 象 小学生親子 先着15組30人
- 参加費 材料代・入園料込 親子1組1000円
- 申 込 4月2日(日)より 電話で野草園まで TEL023-634-4120

◆四季観察会(西藏王のサクラ)

- 日時 5/1(月) 午前9:30~正午
- 場所 野草園内
- 内容 ミヤマカスミザクラなど見頃の花を中心に案内
- 対象 先着20人
- 参加費 資料代・入園料込500円(高校生以下200円)
- 申込み 4月16日(日)より 電話で野草園まで
TEL023-634-4120



世界で野草園にしかないミヤマカスミザクラ
(5月上旬)

◆サクラ祭り

- 期間 4/22(土)~5/7(日) 午前9時~午後4時30分
 - 内容 期間中はソメイヨシノ、オオヤマザクラなどのサクラが次々に開花します。
 - ① 野草園開園30周年記念コンサート
 - ・山形交響楽団金管三重奏 4/30
 - ・シンガーソングライター丹波恵子コンサート 5/3
~野草園でしか見ることのできないミヤマカスミザクラの歌「結いの桜」の作者~
 - ・山形市役所ウィンドアンサンブルコンサート 5/4
 - ② キッチンカーがやってくる 4/29、30、5/3~7
 - ③ やまがたまるごと市 5/3~5 10:00~
- ①~③の詳細は後日ホームページをご覧ください

◆カフェの営業・山野草販売 (自然学習センターで販売)

○カフェやまぼうし

《営業》木曜・土曜・日曜・祝日 午前10:30~午後2:30

《メニュー》カレー、ピザトースト、サンドイッチ、バナナシェイク、コーヒー

○山野草販売

《営業》土曜・日曜・祝日に販売予定(平日販売の場合もあり・夏の期間休業あり)

◆開花した花等の紹介

- 野草園のホームページから観察日記・Instagramをご覧ください。
園内の様子や開花状況等をお知らせいたします。
- ホームページ内の「植物検索システム」で園内の植物を検索できます。
検索できる植物を少しずつ増やしていく予定です。



▲野草園観察日記▲



●● 4月の風景アルバム ●●



●● 4月に見られる主な花 ●●



フクジュソウ (キンポウゲ科)

雪が解けると、土の中からいち早く芽を出し咲き出すのがフクジュソウです。落葉樹林の中で早春に花を咲かせて実を結びます。福寿草や長寿草、元日草など、縁起のよい名前がたくさんあります。金属光沢のある黄色い花は、春の光をいっぱいあびて大きく開花します。曇りの日は花を閉じてしまいます。



マルバマンサク(マンサク科)

マンサクが太平洋側に多いのに対して、マルバマンサクは日本海側に多く積雪地に適応したタイプです。花はマンサクと同じですが、葉の上半部が円いのが特徴です。花は、線形で黄色の花弁と紫紅色の萼が良く目立ちます。春に先駆けて「まず咲く」ことが、名前の由来とされています。



オオミスミソウ (キンポウゲ科)

雪解けの頃に落ち葉を押しつけて咲くので、雪割草とも呼ばれています。常緑の多年草で、葉は浅く3裂し先は少しとがります。ミスミソウとスハマソウに似ていますが、全体的に大型です。ミスミソウ(三角草)の名前は葉の形にもとづいたものです。「ミズバショウの谷」の木道近くの斜面に咲いています。



セツブンソウ (キンポウゲ科)

旧暦の節分の頃に開花するので節分草と呼ばれていますが、野草園では雪が解けるとすぐに開花します。花弁に見えるのは花弁状の萼片で、普通5個あります。花弁は5~10個あり、先端は2裂し黄色から橙黄色の蜜腺になります。真ん中の雄しべの葯は紫色で大変きれいです。春の妖精といわれるスプリングエフェメラルのひとつです。



ザゼンソウ(サトイモ科)

「ミズバショウの谷」の湿地に他の花に先駆けて咲き始めます。僧が座禅をしているように見える花の様子が、名前の由来です。別名ダルマソウとも言われています。紫褐色の花のように見えるものは仏炎苞と呼ばれ、葉が変形したものです。仏炎苞の中の黄褐色の楕円形の部分が花序(花の集まり)です。自ら発熱し雪を溶かして芽を出す性質があります。



ミズバショウ(サトイモ科)

野草園のシンボルでもあるミズバショウ、白い部分は葉の変形した仏炎苞で、その中の黄色い部分が花序（花の集まり）です。バショウとはバナナの1種で、葉の長いものは2mになります。ミズバショウの葉も花後は80cm位になります。バショウの葉に似て、水辺が大変好きなのでミズバショウという名前がつけました。



リュウキンカ(キンポウゲ科)

金色の花が、立った茎に咲くので「立金花」と呼ばれています。湿地や沼地に生える多年草で、葉はフキのようなまるい形をしています。黄色の花のように見えるのは花弁状の萼片で、花弁はありません。「クリンソウの谷」、「ミズバショウの谷」に咲いています。



ショウジョウバカマ (シュロソウ科)

春、いち早く咲く常緑多年生の草本です。葉は地表に広がってロゼット状になり、花茎の先に数個の花を横向きにつけます。花は淡紅色から濃紅紫色まであり、花後は緑色になって残ります。名前の由来は、花を能楽の「猩々（しょうじょう）」の赤頭の毛に例え、葉を袴に見立てたものと言われています。



クリスマスローズ (キンポウゲ科)

中国原産の多年草です。暖かい地方ではクリスマスの頃から開花するのでこの名がついています。白または淡い赤紫色を帯びた5枚の花弁状の萼片の中央に、多数の雄しべとそのまわりに緑色を帯びた筒形の短い花弁があります。野草園では雪解けとともに開花します。



アズマイチゲ (キンポウゲ科)

春の短い期間だけ咲いて、初夏には枯れてしまいます。キクザキイチゲと似ていますが、葉に切れ込みが少なく、肩を落としているように垂れ下がっていることで見分けることができます。花弁状の萼片は白色で基部と裏側は少し紫色を帯びています。主に東日本に多く分布しイチリンソウ（イチゲ）の仲間なのでこの名前がついています。



キクザキイチゲ(キンポウゲ科)

まわりの木々が葉を茂らせる前にいち早く咲き出します。名前からもわかるように、花弁状の萼片が多く、また、葉は切れ込みが多く、キクの花に似ています。花色は多彩で淡紫青色から白色までいろいろあります。日が当たると花を開き、曇ると花を閉じてしまいます。



イワウチワ (イワウメ科)

常緑の多年草です。岩地に生え、葉が団扇（うちわ）に似ているのでこの名前があります。葉は、質が厚く光沢があり、長さより幅が広いのが特徴です。葉の間から花茎を立てて、1茎に1花をつけ、花は横向きに開き、淡紅色で先が細かく切れ込んでいます。



アカヤシオ (ツツジ科)

まわりの木々が芽吹く前で、ピンク色の花がひときわ目立ちます。枝分かれが多く、葉が開く前に、枝先に淡紅紫色の広い漏斗状で5裂した花弁と、雄しべ10個の花をつけます。葉は広楕円形で先がとがり、枝先に5枚輪になってつきます。葉柄や葉縁には2mmをこえる毛が生えています。



カタクリ (ユリ科)

1枚の細長い葉から平たい葉になって、2枚の葉を出すようになると花を開きます。種子から開花まで7年~8年もかかると言われています。花は淡紅紫色で、花弁のつけ根に濃紫色のW字形の模様があり、上の方へ大きくそり返ります。カタクリのでんぷんから採ったものが本物の片栗粉です。



オキナグサ (キンポウゲ科)

花は花茎の先に1個つき、つり鐘形です。葉は白い毛でおおわれ、花弁状の萼片の外側にも白い毛が密生しているので白っぽく見えます。萼片は6個あり、内側は暗紫赤色です。花が終わった後、雌しべは長い羽毛状の果実の集まりになります。それを老人の白髪にたとえて、オキナグサ（翁草）という名前が付けられたと言われています。



オオバナノエンレイソウ（シュロソウ科）

北海道に多く自生し、大群落をつくるといわれています。大きな3枚の葉の上に可愛い白い花をつけます。萼に相当する外花被片は緑色で先が尖ります。花弁に相当する白い内花被片は先が円くなります。芽生えから開花まで、10~15年かかるといわれ、7~8年ほどかかるカタクリよりもずっと長くかかります。



キタコブシ（モクレン科）

冬には長い軟毛におおわれた花芽がたくさんついています。そして、春になると白い花を枝いっぱい咲かせます。花弁は6枚あり、花の下に小形の葉が1枚つきます。これが他のモクレン科の花との違いです。花芽や花を見ても名前の由来は分かりませんが、秋に実る果実を見るとよく分かります。果実が「握りこぶし」に似ているのです。



ユキツバキ(ツバキ科)

東北地方から北陸地方の日本海側の多雪地に咲く常緑低木です。高さは2mほどになりますが、多雪地帯に適応したタイプで、幹は地をはい、平たい半球形の樹形を作ります。ヤブツバキと比べると、葉と花弁は質が薄く、花糸は黄色です。咲き終わると、花全体が落ちてしまいます。



ヤマウグイスカグラ（スイカズラ科）

山野に普通に生え、よく分枝して高さ約2mになります。花はやや曲がった漏斗状で先端は5つに裂けます。葉は開花後に開き、長さ約5cmの楕円形です。初夏にグミに似た実が赤く熟し、とても甘いです。名は、古名ウグイスガクレの転訛とされています。



ニリンソウ（キンポウゲ科）

ひとつの茎に2個の花をつけることが名前の由来ですが、花は1個のことも3個のこともあります。白色の花は花弁状の萼片で5~7枚あります。葉は3つに深く裂けていて、淡白色の斑点があります。葉が毒草のウゼントリカブトにそっくりです。

4月に見られる主なサクラ



オクチョウジザクラ (バラ科)

太平洋側のチョウジザクラに対して、日本海側に分布するサクラです。花の萼筒が長く、少しふくらみが見られます。横から見ると花弁と萼筒が丁字形をしているのが名前の由来です。花は最初は白っぽく、花の終わりには赤っぽくなります。



オオヤマザクラ (バラ科)

日本の固有種で、日本に自生するサクラ属の基本野生種のひとつです。東北地方や北海道に多く、それ以外の地域ではやや標高の高い山地に生えています。ヤマザクラよりも葉や花が大きいことが名前の由来です。赤っぽい色をした若葉が開くと同時に淡紅色の花を咲かせます。花色はヤマザクラより濃く、ベニヤマザクラの別名があります。



エドヒガン(バラ科)

日本の固有種で、日本に自生するサクラ属の基本野生種のひとつです。ソメイヨシノより一足早く咲く、薄紅色のサクラです。萼の付け根がブククリと丸く膨らんでいるのが大きな特徴です。葉が開く前に花が咲き、ソメイヨシノの片親としてもよく知られています。長寿のサクラとしても知られ、樹齢1000年を超える多くはほとんどエドヒガンです。



オオシマザクラ(バラ科)

日本の固有種で、日本に自生するサクラ属の基本野生種のひとつです。白色をした一重咲きの大輪の花を多く咲かせます。白い花と緑色の葉が同時に開くので、そのコントラストが美しいサクラです。花と葉には芳香があります。肉厚の葉には毛が無く、塩漬けにされ桜餅の葉として利用されます。



ソメイヨシノ(バラ科)

エドヒガンとオオシマザクラを両親とする最も有名なサクラです。葉が開く前に薄紅色の花をたくさんつけるその美しさから多くの人々に愛され、全国に数百万本も植えられているといわれています。ほとんどの方は、サクラというとソメイヨシノのイメージをもっています。

令和5年度 山形市野草園イベント日程

※都合により日程や内容の一部が変更になる場合があります。詳しくは、ホームページにてご確認ください。

○展示

野草園写真展（紅の蔵）	4/1（土）～4/23（日）
牧野富太郎博士展（仮）	日程調整中
第29回 野草園の魅力を探る 写真コンテスト入賞作品展	6/9（金）～7/13（木）
絶滅危惧植物パネル展	8月
東北南3県 ポタニカルアート作品展	9/3（日）～10/1（日）
第30回 野草園の魅力を探る 写真コンテスト入賞作品展	10/15（日）～11/23（木・祝）
野草園写真展（山形市役所）	令和6年3/11（月）～3/15（金）

○観察会

ガイドウォーキング	①開園期間（4月～11月）の日曜日と祝日 ②無休期間（4月第3月曜日～6月第2月曜日）の土曜日、9月の土曜日
バードウォッチング	4/15（土）、11/4（土）
四季観察会	5/1（月）、6/29（木）、10/26（木）、令和6年2/16（金）、令和6年3/22（金）
ホテル観察会	6/30（金）、7/1（土）（2日間）
アサギマダラ観察会	9/16（土）

○共催事業

薬草と薬膳を楽しむ 健康ウォーキング	8/27（日） 主催：懶萬屋薬局 共催：野草園
ノルディックウォーキング	11/11（土） 主催：IDEHA 共催：野草園
スノーハイク体験ツアー	令和6年2/17（土） 主催：IDEHA 共催：野草園

○体験教室

カブトムシの育て方教室	4/22（土）
庭木の剪定教室	5/16（火）、7/8（土）、10/28（土）
ギャザリング教室	6/3（土）
テラリウム教室	6/17（土）
虫とりに行こう	7/15（土）、7/16（日）
昆虫写真教室	7/23（日）
昆虫ジオラマ教室	8/5（土）
木工工作教室	7/29（土）、8/11（金・祝）
樹皮編み教室	8/26（土）
薬草講座	9/2（土）
ポタニカルアート体験講座	9/21（木）
ガーデニング教室	10/7（土）
雪囲い教室	11/11（土）、11/12（日）

○博物館実習

博物館実習	募集期間：5月～6月 実施期間：9/5（火）～9/10（日）（6日間）
-------	--

○コンテスト

第30回野草園の魅力を探る 写真コンテスト	募集期間：8/30（水）～9/20（水）
--------------------------	----------------------

○イベント

サクラ祭り	4/22（土）～5/7（日）（イベントは3日間程度）
アサギマダラ祭り	9/16（土）～9/24（日）（イベントは3日間程度）
キッズスノーパーク	令和6年2月（6日間）
冬のお山の雪遊び （そり滑り一般開放）	令和6年2月（2日間）

○その他

開園記念花苗プレゼント	4/1（土）（開園日）
工作コーナー	7/30（日）～8/10（木）
山の日記念花苗プレゼント	8/11（金）（山の日）
家屋新築記念樹交付 （市事業）	5/13（土）・5/14（日）、10/21（土）・10/22（日）
団体の案内・受入れ	適時